

かんえいやはたせいてつじょ  
官営八幡製鐵所

所在地／北九州市

指定／世界文化遺産・市史跡等



官営八幡製鐵所旧本事務所 ※非公開施設



東田第一高炉

明治時代、日本では鉄道のレールや大きな船を作るため、たくさんの鉄が必要でした。そのため外国から鉄製品を買っていましたが、お金がかかりました。そこで政府は、日本で鉄を作りたいと考え、現在の北九州市八幡に、大きな鉄の工場を建てました。これが官営八幡製鐵所です。官営とは国が経営するという意味です。

官営八幡製鐵所は、1901年（明治34）の完成です。鉄の作り方は、ドイツの技術者から教えてもらいました。官営八幡製鐵所ができたことで、福岡県はものづくりの材料である鉄をたくさん生産しました。また周辺には他にもいろいろな工場が作られ、福岡県は東京・愛知・大阪とならぶ、工業が盛んな場所になりました。

こうした官営八幡製鐵所の施設は、後に国から民間の製鉄会社に引きつがれました。製鉄会社は明治時代の建物も、実際の工場などとして使いながら、大切に保存してきました。現在は明治時代の事務所や工場が、世界文化遺産に登録されています。また、鉄作りが始まったときに最初につくられた溶鋳炉（※）である東田第一高炉は、後に作り変えられましたが、最後に作り変えられた時の溶鋳炉跡が史跡広場として公開されています。

※溶鋳炉：鉄の材料である鉄鉱石を溶かして、鉄を作り出す炉

【もっとくわしく調べたい】

○北九州イノベーションギャラリー 福岡県北九州市八幡東区東田2丁目2-11 TEL 093-663-5411

○北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）

福岡県北九州市八幡東区東田2丁目4-1 TEL 093-681-1011

【八幡製鐵所跡（東田第一高炉跡）に行ってみよう】

○JRスペースワールド駅下車、徒歩5分